

# 日本摂食障害協会 活動報告 2019

～ご報告資料～（～2020/3/31まで）

一般社団法人日本摂食障害協会

2020.3.13\_Ver1.1



Supported by 

# 組織体制の変更

## 【理事長】

鈴木 眞理：政策研究大学院大学 保健管理センター 教授

## 【副理事長】

鈴木 裕也：元埼玉社会保険病院院長・名誉院長 山王メディカルセンター 予防医学センター 内科医  
山岡 昌之：元国家公務員共済組合連合会 九段坂病院副院長 日本摂食障害治療研究所 所長 心療内科医

## 【理事】

木村 記子：なにわ生野病院 心療内科部長 大阪メンタルヘルス総合センター 副センター長 児童精神科医  
作田 亮一：獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター長 教授 小児科  
末松 弘行：名古屋学芸大学 名誉教授 心療内科医  
鈴木 眞理：政策研究大学院大学 教授 内科医  
鈴木 裕也：元埼玉社会保険病院院長・名誉院長 山王メディカルセンター 予防医学センター 内科医  
西園マーハ文：明治学院大学 心理学部心理学科 教授 精神科医  
林 公輔：学習院大学文学部 心理学科准教授 精神科医  
山岡 昌之：元国家公務員共済組合連合会 九段坂病院副院長 日本摂食障害治療研究所 所長 心療内科医

## 【監事】

石川 俊男：元国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科特任診療部長 元日本摂食障害学会理事長



# 世界摂食障害アクションデイ2019

## ～生命の躍動を支える 食の科学と豊かなスポーツライフ～

摂食障害は、軽症のものを含めると、若い女性の約1割が拒食症や過食症などの摂食障害の症状を持っていると考えられています。適切な検査や治療を受けられないと命に関わる合併症が起こったり、身長が伸びない、骨粗鬆症、歯の喪失などの後遺症も残ったりします。妊娠や出産に影響することもあります。



2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、アスリートの食と健康の問題が注目されるようになりました。スタイルや体重が競技の判定や記録に影響を及ぼしやすい体操、アイススケート、陸上などの競技、若い女子アスリートでは「アスリートの3主徴」と呼ばれる、やせ、無月経、骨折が多く、摂食障害の有病率は一般女性の3倍と報告されています。学校の部活動においても、軽量化や無理な体重制限などの指導により、食べることに苦しみ、本来のパフォーマンスを発揮できずに若くして引退してしまう選手も多いのが現状です。老若男女あらゆるスポーツが盛んに行われており、食の科学で全てのスポーツをする人たちを守るために、正しい食事の取り方、特に、女性アスリートに対する支援の在り方、女性のカラダ、摂食障害の特徴を知ることが大切です。

現状どのような取り組みを行い、コーチの指導法も含め今後どうバックアップしていけるかなど、関連機関、関連協会、専門家それぞれの立場から発表し考え、「女性アスリートの健康を守る東京宣言」をしました。また、今年度の協会の啓発テーマを発表しました。NHK、大手新聞など主要メディアも参加、掲載、放映いただきました。

実施時期：2019年6月2日（日）13：00～16：00

場所：政策研究大学院大学 想海楼ホール

参加者：317名（参加無料）

対象：トレーナー、アスリート、各競技団体、養護教諭、部活顧問、（管理）栄養士、セルフグループ、家族会、当事者、ご家族など

主催：一般社団法人日本摂食障害協会



共催：特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会



協力：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

特別後援：日本財団 

後援：東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部、法務省、厚生労働省、スポーツ庁、東京都、港区、大阪府学校保健会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会、公益財団法人日本医師会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本女医会、公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本精神神経学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、公益社団法人日本歯科医師会、一般財団法人日本ヘルスケア協会、一般社団法人日本女性心身医学会、一般社団法人日本心身医学会、一般社団法人日本心理臨床学会、一般社団法人日本体育学会、一般社団法人日本体力医学会、一般社団法人日本内分泌学会、一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人日本臨床栄養学会、一般社団法人スローカロリー研究会、一般社団法人日本社会精神医学会、一般社団法人女性アスリート健康支援委員会、一般社団法人パーソナルトレーナー協会、一般社団法人美容サロン協議会、特定非営利活動法人日本心療内科学会、特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、特定非営利活動法人日本トレーニング指導学会、日本摂食障害学会、日本スポーツ精神医学会、女性スポーツ医学研究会、ランニング学会など

※以下敬称略

## ◆開始協会よりご挨拶

一般社団法人日本摂食障害協会理事長 生野照子  
一般社団法人日本摂食障害協会特別顧問 河野一郎



内科の医師でソウル五輪、バルセロナ五輪、アトランタ五輪、大会で日本オリンピック選手団のチームドクターを3大会連続で務め、日本オリンピック委員会理事、日本スポーツ振興センター理事長、日本アンチ・ドーピング機構理事長を歴任。現在は筑波大学特命教授 学長特別補佐、日本オリンピック・パラリンピック組織委員会副会長、今年の9月より日本で開催されます、ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長代行を務める。



厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部  
精神・障害保健課心の健康支援室長補佐 溝口晃壮

## ◆日本摂食障害協会の活動について

・2018年の活動報告と2019年の活動について  
一般社団法人日本摂食障害協会理事 関東支部長 鈴木真理  
・調査発表  
「やせやダイエットによる健康障害の認識度調査」  
一般社団法人日本摂食障害協会フェロー 菅原彩子



## ◆基調講演基調講演 1

- ・一般社団法人日本摂食障害協会 参与  
大妻女子大学 家政学部食物学科 教授 小清水孝子

「女性アスリート特有の食生活の問題点と対策」



## ◆基調講演基調講演 2

- ・一般社団法人女性アスリート健康支援委員会  
一般社団法人女性アスリート健康支援委員会 理事  
一般社団法人日本摂食障害協会 参与  
聖路加国際病院 女性総合診療部部長 百枝幹雄

「女性アスリート健康支援委員会の取り組みについて」



## ◆基調講演基調講演 3

- ・一般社団法人日本摂食障害協会 理事  
明治学院大学 心理学部心理学科教授 西園マーハ文

「女性アスリートと摂食障害～精神医学の立場から～」



## ◆ゲスト 当事者の経験談（対談）

- ・元女子マラソン日本代表 原裕美子
- ・日本摂食障害協会理事 関東支部長 鈴木真理（モデレーター）  
摂食障害当事者として、アスリートとしてのご経験をお話いただきました。



## ◆質疑応答 登壇者全員

会場からの質問に登壇者が答えました。



## ◆閉会のご挨拶

一般社団法人日本摂食障害協会副理事長 鈴木裕也







# <世界摂食障害アクションディ特別企画> 摂食障害について考える ～私たちの主張～

## 【特別企画】

世界摂食障害アクションディ  
サポーター・当事者・家族・治療支援者向け  
2019年6月2日（日）10：00～11：30



## <実施企画>

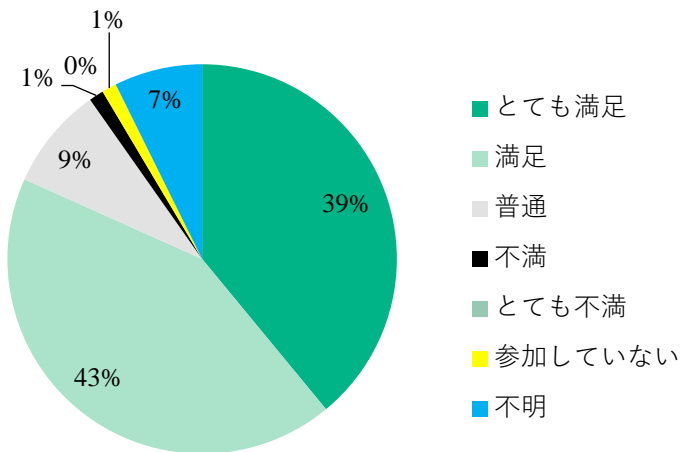
摂食障害について考える ～私たちの主張～

拒食や過食で困っているご本人とご家族、治療や支援に関わる人々など、様々な立場の方が登壇。日常生活の中で考えていることや困っていること、摂食障害について広く社会に伝えたいことなどを1人5分程度で9名の当事者、家族の方が発表。摂食障害の治療・支援環境向上と誰もが生きやすい社会を実現するために、みんなの思いと願いを共有し、共に考え、力を合わせて場をつくりました。

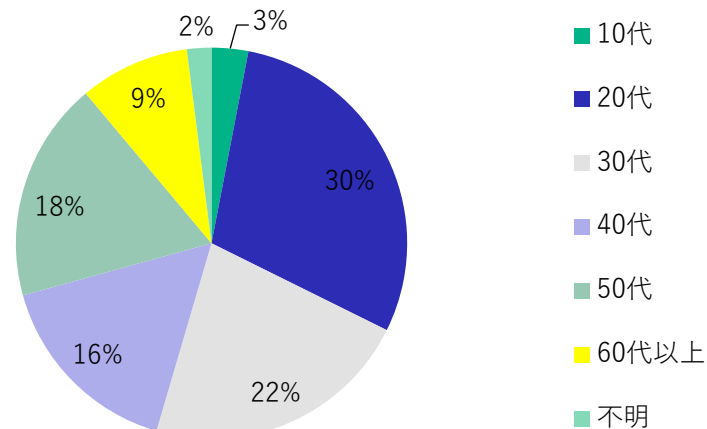


# 来場者アンケート

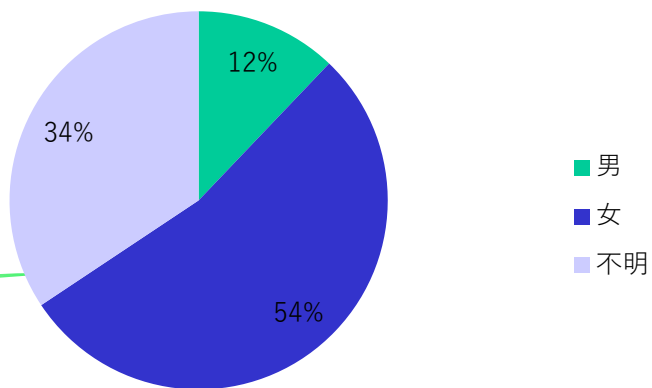
## 満足度



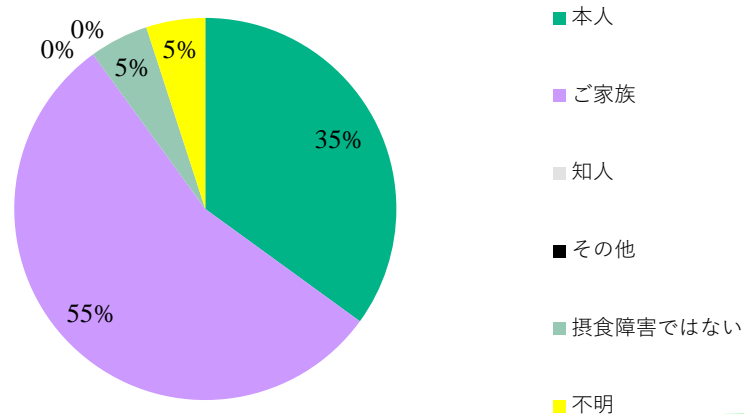
## 年代



## 性別



## 摂食障害について



# 講習会（ゲートキーパー向け講習会）

## 「養護教諭のための摂食障害ゲートキーパー研修会」 ～「摂食障害に関する学校と医療のより良い連携のための対応指針」 完成を受けて～

若年者の摂食障害は、頑張り屋、スポーツとの関連、あるきっかけから食べられなくなるなどの特徴も見られ、症状が進むと長期にわたる心身への症状を残し、学業や社会的な生活にも影響を与えます。そのため、学校現場での早期発見、適切な対応、医療との連携がうまく繋がることが望まれます。このたび学校における摂食障害への対応指針が示されたことをふまえ、指針に沿った保健室からの対応についての養護教諭向けの研修を企画。岡山、名古屋、大阪の3つのエリアで実施し、講習会では、講師による疾患概説と指針の解説のほか、現場で働く養護教諭も登壇し、症例提示と実際の適応を解説しました。

### 【岡山会場】

<日時>2019年7月20日（土）14:00 ～ 17:00

<会場>ジュンコフクタケホール（岡山大学鹿田キャンパス内）

〒700-0914 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1

<主催>一般財団法人日本摂食障害協会

<後援>岡山県教育委員会

<特別協力>日本財団

<参加費>無料

<参加者>51名

<講師>岡田あゆみ（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医学）、

高宮静男（当協会参与、たかみやこころのクリニック院長）、

大波由美恵（神戸市立井吹台中学校）、加地啓子（神戸市立星陵台中学校）

※以下敬称略



**養護教諭・学校関係者のための  
摂食障害ゲートキーパー研修会**

「摂食障害に関する学校と医療のより良い連携のための対応指針」完成を受けて～

若年者の摂食障害は、頑張り屋、スポーツとの関連、あるきっかけから食べられなくなるなどの特徴も見られ、症状が進むと長期にわたる心身への症状を残し、学業や社会的な生活にも影響を与えます。そのため、学校現場での早期発見、適切な対応、医療との連携がうまく繋がることが望まれます。このたび学校における摂食障害への対応指針が示されたことをふまえ、指針に沿った保健室からの対応についての養護教諭向けの研修を企画。岡山、名古屋、大阪の3つのエリアで実施し、講習会では、講師による疾患概説と指針の解説のほか、現場で働く養護教諭も登壇し、症例提示と実際の適応を解説しました。

岡山	名古屋	大阪
日時 7月20日 14:00～17:00 場所 ジュンコフクタケホール 岡山大学鹿田キャンパス内	日時 9月28日 14:00～17:00 場所 オオバコビル3階 名古屋市中区錦	日時 11月16日 13:00～15:00 場所 AP 淀川 4階 大阪府大阪市淀川区
講師 岡田あゆみ 高宮静男 大波由美恵 加地啓子	講師 岡田あゆみ 高宮静男 大波由美恵 加地啓子	講師 岡田あゆみ 高宮静男 大波由美恵 加地啓子
参加費 無料	参加費 無料	参加費 無料

JAED 一般財団法人日本摂食障害協会 Japan Association for Eating Disorders

THE NIPPON FOUNDATION



# 講習会（ゲートキーパー向け講習会）

## 【名古屋会場】

<日時>2019年9月28日（土）14：00 ～ 17：00

<会場>オルバースビル 3階

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目19-27

<主催>一般財団法人日本摂食障害協会

<後援>岡山県教育委員会

<特別協力>日本財団

<参加費>無料

<参加者>81名

<講師>井口敏之（星ヶ丘マタニティ病院小児科）、  
高宮静男（当協会参与、たかみやこころのクリニック院長）、大波由美恵（神戸市立井吹台中学校）、  
加地啓子（神戸市立星陵台中学校）



## 【大阪会場】

<日時>2019年11月16日（土）13：00 ～ 15：00

<会場>AP淀屋橋 4階南B（日本心身医学会 会場内）

〒541-0041 大阪府中央区北浜3-2-25 京阪淀屋橋ビル

<主催>一般財団法人日本摂食障害協会

<後援>大阪府教育委員会、  
第60回心身医学会総会、第二回心身医学関連合同集会

<特別協力>日本財団

<参加費>無料

<参加者>88名

<講師>北山真次（姫路市総合福祉通園センタールネス花北）、  
高宮静男（当協会参与、たかみやこころのクリニック院長）、大波由美恵（神戸市立井吹台中学校）、  
加地啓子（神戸市立星陵台中学校）



# 講習会（当事者・家族向け）

## 摂食障害を学ぶ、語る in とかち

北海道立緑ヶ丘病院と共催で開催をします。講習会後半では、摂食障害治療をみんなで考える質問会を実施し、参加者の皆様からの疑問や質問に専門家がお答えして、一緒に治療や支援について考えました。

<日時> 2019年10月20日（日） 10：00 ～ 13：00

<会場> 北海道立緑ヶ丘病院 体育館

<主催> 一般社団法人日本摂食障害協会

<共催> 北海道立緑ヶ丘病院

<特別後援> 日本財団

<対象> 当事者、家族、管理栄養士、病院スタッフ

<参加者> 174名

<講師>

鈴木眞理（当協会 理事長、政策研究大学院大学 保健管理センター教授）

柴崎千絵里（当協会 参与、国際医療福祉大学 成田病院 栄養室長）

## 摂食障害を学ぶ、語る in とかち 開催のお知らせ

もっと、摂食障害を知ってほしい、もっと、つながってほしい。

この想いを共有する日本摂食障害協会様からお力添えをいただき、今回のセミナーを開催することになりました。

「気軽に」「本音で話せて」「暖かい」セミナーを開きたい。

摂食障害診療の第一線で活躍されている著名なお二人の先生からご講演をいただきます。ご講演の後、お二人の先生と当院のスタッフを交えて、なごやかな雰囲気の中で意見交換会を行います。疑問や心配事などは共有されてこそ価値があるといえます。関係者同士、顔の見える関係を築ける機会になることを願っています。

「すぐに使える」「役に立った」と思えるセミナーになるよう、スタッフ一同励みたいと思います。ぜひ、会場に足を運んでくださるようお願いいたします。

北海道立緑ヶ丘病院  
摂食障害セミナー開催スタッフ一同

**講師紹介**（お二人のイラストは摂食障害の当事者の方で作成していただきました。）



鈴木 眞理 先生

一般社団法人日本摂食障害協会 理事(関東支部長)  
医師(現職、政策研究大学院大学保健管理センター)  
日本内分治学会理事、日本摂食障害学会理事、  
一般社団法人日本摂食障害協会理事、家族会主催、  
「心と体と食生活」(摂食障害)見逃し防止プロジェクト)など、著書多数。



柴崎 千絵里 先生

一般社団法人日本摂食障害協会参与  
管理栄養士(現職、東京女子医科大学付属成人医学センター)  
病態栄養専門管理栄養士、6人病態栄養専門管理栄養士、  
日本糖尿病管理栄養士、生活習慣病改善指導士などの資格を保有し、  
栄養指導にあたる。所属学会多数。

**申し込み方法**

当院持参、FAXのいずれかで申し込みができます。

当院持参 バックリット裏面の申込書をお渡し、当院事務室までお持ちください。

F A X バックリット裏面の申込書をお渡し、FAX送信してください。

FAX 番号 0155-42-4233



# 講習会（専門家向け）

## アスリートのこころとからだを育む 運動部活指導のために 摂食障害の理解

<日時> 2019年7月4日（木） 14：00～17：00

<会場> 大阪府教育センター

<主催> 大阪府教育センター

<対象> 学校関係者、部活顧問

<参加者> 220名

<講師>

当協会フェロー

なにわ生野病院 心療内科 臨床心理士 武久千夏



## 子どもの摂食障害

<日時> 2020年2月7日（金） 14：00～17：00

<会場> 大東市教育委員会

<主催> 大東市教育委員会

<対象> 学校関係者、部活顧問

<参加者> 100名

<講師>

一般社団法人日本摂食障害協会 理事

なにわ生野病院 心療内科 部長

大阪メンタルヘルス総合センター 副センター長 木村記子



# 有料講習会（当事者・家族向け）

## 摂食障害治療に役立つ RAVES（レーブス）モデル ワークショップ

オーストラリア・クイーンズランド州の摂食障害専門管理栄養士シェーン・ジェフリーによって考案された病院内外で活用可能な摂食障害治療モデル。DAA（豪・管理栄養士会）摂食障害治療リーダーシップグループのエデュケーション部門をマネージしている染原 風生先生をお招きし、海外の最新情報、RAVES（レーブス）モデルを学びました。拒食型・過食型ともに活用できるこのモデルは、病院・クリニックで今現在使われているプログラムや療法を一から組み立て直す必要がなく、プラスアルファとして効率の良い治療を可能にします。参加者の95%の方に満足をいただき、管理栄養士だけでなく、家族向けの勉強会などにも継続的に内容を変えて、開催して行く予定です。

<日時> 2019年9月28日（土）10:00～16:00

<会場> 政策研究大学院大学 会議室1A

<対象> 摂食障害治療・支援に関わる専門家

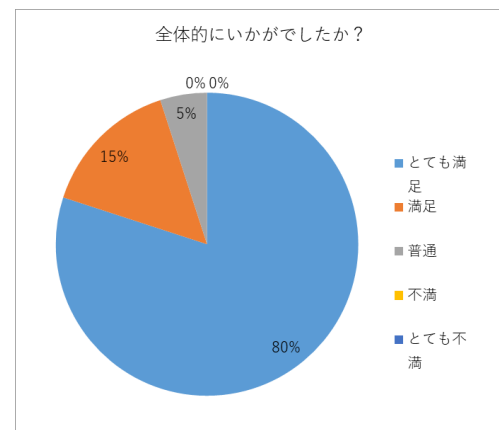
（養護教諭、学校関係者、部活顧問、コーチ・トレーナー、  
管理栄養士、栄養士、医師、臨床心理士、公認心理師、看護師など）

<参加費> 10,000円（税込）

<参加者> 21名

<プログラム>

- ◆クライアント（患者）のエンゲージメント&アセスメント法
  - ・クライアントを理解するための初診、短期・長期ゴール設定
  - ・治療プランニングとNN（ノン・ネゴシヤブル）の作成
- ◆効果的な食事カウンセリングのプランニング&進め方
  - ・クライアントの協力を促すためのサイコエデュケーション
  - ・RAVESモデルの進め方、FBT等その他モデルとの使い分け・応用法
  - ・ケース・スタディ
- ◆心理士・カウンセラー・医師との連携方法および役割分担 など





# 有料講習会（当事者・家族向け）

## 本来の健やかな静けさに戻る 眠りのヨガニードラ アーユルヴェーダ講座

私たちは絶えず真摯に問題解決のために焦点をあて、思考を反芻し続けていることで、処理しきれないほどのストレス反応により、からだと心を落ちつかせる時間が不足しています。ヨガニードラの実践により、大切な気づきや解放が、より起こりやすくなります。思考の癖や心のパターンを緩め、私たち本来の姿である静けさとやさしさに浸る機会をつくります。自然科学アーユルヴェーダの恩恵と、積極的休息の姿勢を基盤にしたヨガニードラの総合的メソッドによって、心とからだを癒す日々のセルフケア・リラクゼーション法を専門家から学びました。

<日時> 2019年7月21日（日） 10：00～16：00

<会場> 政策研究大学院大学 会議室 1A

<対象> 食事や体型で悩むご本人、ご家族など、  
ヨガニードラアーユルヴェーダにご興味がある方

※男性の方もご参加いただけます。

※回復済、回復途中など症状による参加条件はございません。

<参加費> 10,000円（税込）

<プログラム>

- 1) 摂食障害とは？
- 2) アーユルヴェーダ理論と実践
- 3) 眠りのヨガニードラ理論と実践

<講師経歴>

Rasa Yoga Ayurveda(ラサヨガ・アーユルヴェーダ)代表 ヨガ講師・アーユルヴェーダセラピスト  
西澤 佳菜子



# 有料講習会（家族向け）

## 摂食障害を支援するご家族の講習会・個別相談会・茶話会 ～今、困っていることの解決の糸口を探ろう～

摂食障害は、専門家の支援、周りの方サポートを受けることは回復にはとても有益とされています。そこで、以前よりご要望が多かった、家族向けの心理教育セミナーの開催しました。摂食障害に関する最新の知識と、家族にできることの基礎を学び、家族がわが子の回復を応援するサポーターになるための心理教育セミナーです。会後半では、組数限定で個別面談も開催し、茶話会では最後まで沢山の方がご自身の経験、お子さんの症状、現在困っていることなどをお話されていました。春以降に第2回を開催予定です。

<日時>2020年1月25日（日） 13：00～18：15

<会場> 政策研究大学院大学 会議室 1A

<対象> 家族限定

<参加費> 1家族1名5,000円、1名追加1,000円（税込）

<参加者> 87名（70組）

<プログラム>

1. 摂食障害の最新基礎知識と治療法

摂食障害のメカニズム、身体・栄養療法・認知行動療法などの精神療法

2. 注意する合併症とその対策

摂食障害による生命の危機や、合併症・後遺症を防ぐための基礎知識

3. 摂食障害の就学と就労

就労・就学の実態と家族にできるサポート

4. 家族にできること・できないこと

家族が患者さんをサポートするための基礎知識



<講師> 鈴木真理、西園マーハ文、小原千郷、鈴木高男（家族会 ポコ・ア・ポコ 代表）

## 意見交換会（公明党）

公明党の代議士の先生方に摂食障害を知っていただくための意見交換会を行いました。代議士の先生方に知って頂いたことで、2月3日の衆院予算委員会質疑にて石田祝稔公明党政務調査会長より摂食障害について発言していただき、橋本岳 厚生労働副大臣からも体制整備、支援に取り組む旨のお話がありました。また、2月25日の衆議院予算委員会第5分科会で公明党・鰐淵洋子議員が摂食障害の質問をいただきました。

これらを受けて、公明党内に2020年2月28日に「摂食障害対策プロジェクトチーム（PT）」を設置していただき、。顧問に石田政調会長をはじめ、女性の立場から高木美智代厚労部会長などにご就任いただきました。協会としては、当事者、家族の声を届けるべく、継続的に意見交換会や、勉強会の開催を現在を企画させて頂いております。

「摂食障害対策プロジェクトチーム（PT）」※敬称略

- ▽顧問 石田祝稔、高木美智代、山本博司
- ▽座長 熊野正士
- ▽副座長 高瀬弘美
- ▽事務局長 鰐淵洋子



# 意見交換会（サポーター）

## 摂食障害についていろいろ話そう！ ～学び合い・話し合いサロン～

当協会のサポーター登録をしてくださった方々（当事者、家族、専門家など）やご本人が集まる機会、一人で悩まずに皆で話しあう機会を持ちたいと考え、イベントを企画しました。終了後にも名刺交換や、連絡先交換も行い、仲間作りができました。不定期にはなりますが、次回また開催を企画します。

<日時> 2019年11月10日（日） 13:00～17:30

<会場> 政策研究大学院大学 1階 会議室1A

<主催> 一般社団法人日本摂食障害協会

<対象> 当事者、家族、サポーターの方々

<参加費> 1,000円（税込）

<参加者> 57名

<プログラム>

- 1) 開会のご挨拶
- 2) 当事者からのメッセージ
- 3) 質疑応答
- 4) 茶話会（フリータイム）



## 意見交換会（食品メーカー、行政）

多様化される生活スタイル、食事内容、食文化など、様々な面での問題解決が必要になってきます。そこで、専門家を交えて、食品メーカー担当者、店舗ご担当者、行政ご担当者と食べ方、栄養、カラダのことを理解していただく目的で、現在取り組んでいる事例などを話し合いました。

<日時>2020年2月27日（木） 13：30～16：30

<会場>政策研究大学院大学 会議室4B 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

<特別後援>日本財団

<参加者>

※以下敬称略

丹羽真清（デザイナーフーズ株式会社 代表取締役）

鈴木真理（日本摂食障害協会理事長、政策研究大学院大学教授）

佐藤聖（一般財団法人 日本ヘルスケア協会 常務理事）

三木真之介（農林水産省 農産安全管理課 課長補佐）

石川直人（株式会社サラダコスモ 研究開発部）

倉本 智一（株式会社フルッタフルッタ ディレクトマーケティング部 グループリーダー）



# 意見交換会（パーソナルトレーナー）

パーソナルトレーナー研究所主催の「パーソナルトレーナー研究所フォーラム」が6月30日（日）に開催され、200人のトレーナーとトレーニーの参加がありました。パーソナルトレーナーにはダイエット目的で申し込みがあることが多いとのことで、カラダの仕組み、ダイエットの危険性、特に女性を教える際に注意してほしいことなどを鈴木真理先生が登壇をし、お話をしました。また後半では現役の重鎮トレーナーとのディスカッションにも参加しまして意見交換を行いました。

<日時> 2019年6月30日（日） 14:00～19:00

<会場> 渋谷

<主催> パーソナルトレーナー研究所

<参加者> 200名

<登壇者>

トレーナー業界のレジェンド・オブ・レジェンド 筋肉博士の称号を持つ  
山本義徳

14.3万人の登録者を誇るYouTuber

山澤礼明

世界を股にかける国際的なセールスコンサルタント

成田直人

内科医 日本摂食障害協会理事

鈴木真理

メジャーリーグトレーナー経験を経て、

ミスコン公式トレーナーやDr.ストレッチ技術監修

山口元紀

パーソナルトレーナー・フィットネスモデル

YASUKA

日本最大級ダイエットメディア『ダイエットコンシェルジュ』代表

只石昌幸

※以下敬称略



# ウェルネスフードジャパン2019

ウェルネスフードジャパンは自然食品・健康食品・サプリメント・健康食品素材に関する日本最大級の専門展示会です。

摂食障害はありふれた病気になりましたが、通常の栄養指導が通用しません。本講演では正しい食事の取り方だけでなく、「食べる喜びから美味しく食べる喜び」をテーマに、専門家それぞれの立場から発表しました。

<開催日>2019年7月3日（水） ※会期は7月3日（水）～5日（金）

<会場>パシフィコ横浜 会議棟

<参加者>40名

<対象者>食品メーカー、健康食品メーカー、小売・流通・問屋、  
フィットネスクラブ・スポーツ関連施設、学校、企業等

<イベント参加人数>33745人/3日間



<登壇テーマ>

「“食べる喜び”とは何か～摂食障害から見えてくること」

一般社団法人日本摂食障害協会 理事

学習院大学文学部心理学科准教授（精神科）

林公輔

「“五感で食べる美味しい食事”とは～食べる喜びから美味しく食べる喜びへ～」

一般社団法人日本摂食障害協会 参与

つくば国際大学医療保健学部保健栄養学科専任講師（管理栄養士、博士(医学)）

菊池浩子



# 大学出張 講習会

2017年度から名古屋学芸大学主催の管理栄養士特講（エキサイティング）枠で講義枠をもたせていただいております。今年で3年目の実施になります。管理栄養士を目指す学生たちは授業の中で摂食障害を学ぶ授業はないので、摂食障害の概論、管理栄養士の仕事という2つのテーマで啓発を目的とした講義を行いました。

<2019年度>

<日時>2019年12月6日（金） 13：50～15：20

<会場>名古屋学芸大学

<対象>1年生 175名

<テーマ>

摂食障害に出会って、、、一拒食症・過食症の世界ー  
一般社団法人日本摂食障害協会監事  
石川 俊男



<日時>2019年12月13日（金） 13：50～15：20

<会場>名古屋学芸大学

<対象>1年生 175名

<テーマ>

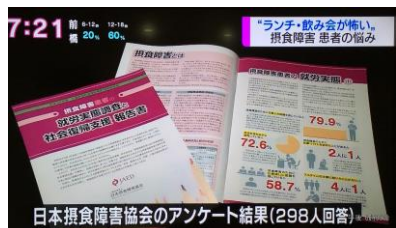
管理栄養士の仕事について考える  
一般社団法人日本摂食障害協会参与  
つくば国際大学医療保健学部保健栄養学科専任講師  
（管理栄養士、博士(医学)）  
菊池浩子





# メディア関連 (テレビ)

## ◆NHK おはよう日本・首都圏ニュース



## ◆NHK ニュースチェック11・ひるまえほっと



## ◆フジテレビ

今日、刑務所を出ます～やり直したいオンナたち～

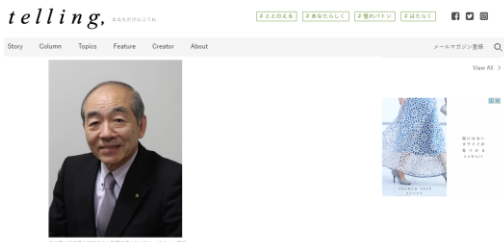


# メディア関連 (その他)

## ◆朝日デジタル



## ◆telling (朝日新聞社)



## ◆NHKニュース



## ◆時事メディカル



## ◆日本経済新聞 (デジタル)



## ◆東京新聞



## ◆Yahooニュース



## ◆日刊スポーツ ◆下野新聞SOON など

# 制作物

